

事務事業名		緊急宿泊支援事業			会計	一般会計			
H27担当課等名		長寿支援課		H27係等名	長寿支援係		H26係等名	長寿支援係	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			施策	35	高齢者福祉の推進
目的	対象(誰・何を)	高齢者等の介護者で緊急事由により介護することが困難となる世帯。			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	障害者や高齢者等が馴染みの環境で、身近な施設で緊急の短期入所を受け入れてもらうことにより利用者自身や家族の不安を解消させる。				介護保険要支援・要介護認定者数		6101	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	利用登録者数			100	93	100	100	
	定性目標								
事業概要	宅老所(通所介護施設)等を利用している障害者・高齢者が、家族の都合等で緊急に宿泊預かりが必要になり、馴染みの環境で緊急宿泊利用した場合、利用料の一部を年間4回まで請求のあった介護者の方に助成する。								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 事業実施可能な事業所を確保する。 2 家族の都合により介護が困難となり、障害者、高齢者等が日々利用している宅老所等で緊急に宿泊した場合、利用料の一部を年、4回まで助成する。但し、一日5,000円以上の場合には4,000円を上限とする。 3 利用登録申請後、請求のあった介護者の方に助成する。 4 事業者連絡会時、事業所に事業目的等の周知を行う。				1 登録事業所数 2 利用者数 3 利用回数		1 10事業所 2 18人 3 40回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		148	480	160	240	(県)緊急宿泊支援事業補助金(1/2)			
国庫支出金									
県支出金		74	240	80	120				
起債									
その他									
一般財源		74	240	80	120				
人件費計(千円)②		143		179					
正規職員所要時間		40		50					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		291	480	339	240				
事業内容・目標達成状況の振り返り	在宅介護者の経済的、精神的負担を軽減する必要がある。今後とも利用率向上を図る必要がある。								
改革改善の考え方	①問題点	対象者に事業の周知が徹底されていない。							
	②改革提案	年1回他の在宅福祉サービスとともに対象者に案内を送付する。事業者連絡会時、事業所に事業目的等の周知を行う。緊急宿泊が必要な方が利用でき、助成を受けられるようにしていく。							